

# しまね次世代産業創出 オープンイノベーション推進事業

令和7年5月22日（木）

島根県商工労働部産業振興課

イノベーション推進係／ヘルスケアビジネス推進係

# 事業の趣旨

## ■ しまね次世代産業創出オープンイノベーション推進事業の趣旨

- 事業の目的は、新しい事業や製品・サービスの創出により、県内企業のさらなる成長を支援すること
- 主なターゲット市場は、次世代産業分野（グリーン・環境、ヘルスケア、次世代モビリティ）
- 支援施策は、「技術」、「資金」、「戦略」、「事業化支援」の4つの視点で展開
- 施策実施に当たっては、オープンイノベーション（産官学や民間企業同士の共創・連携）の実現に注力

### 支援施策の全体像

#### 【基本的な考え方】

単独で実施するよりも、外部と組むことによる新事業創出を支援  
⇒オープンイノベーション（産官学や民間企業同士の連携）の必要性

### 事業の目的

#### 事業化

- 新製品・サービスの創出
- 既存の大幅改善
- 新市場への展開

≪主なターゲット市場：次世代成長分野≫

- ・ グリーン・環境
- ・ ヘルスケア
- ・ 次世代モビリティ

#### 企業の成長

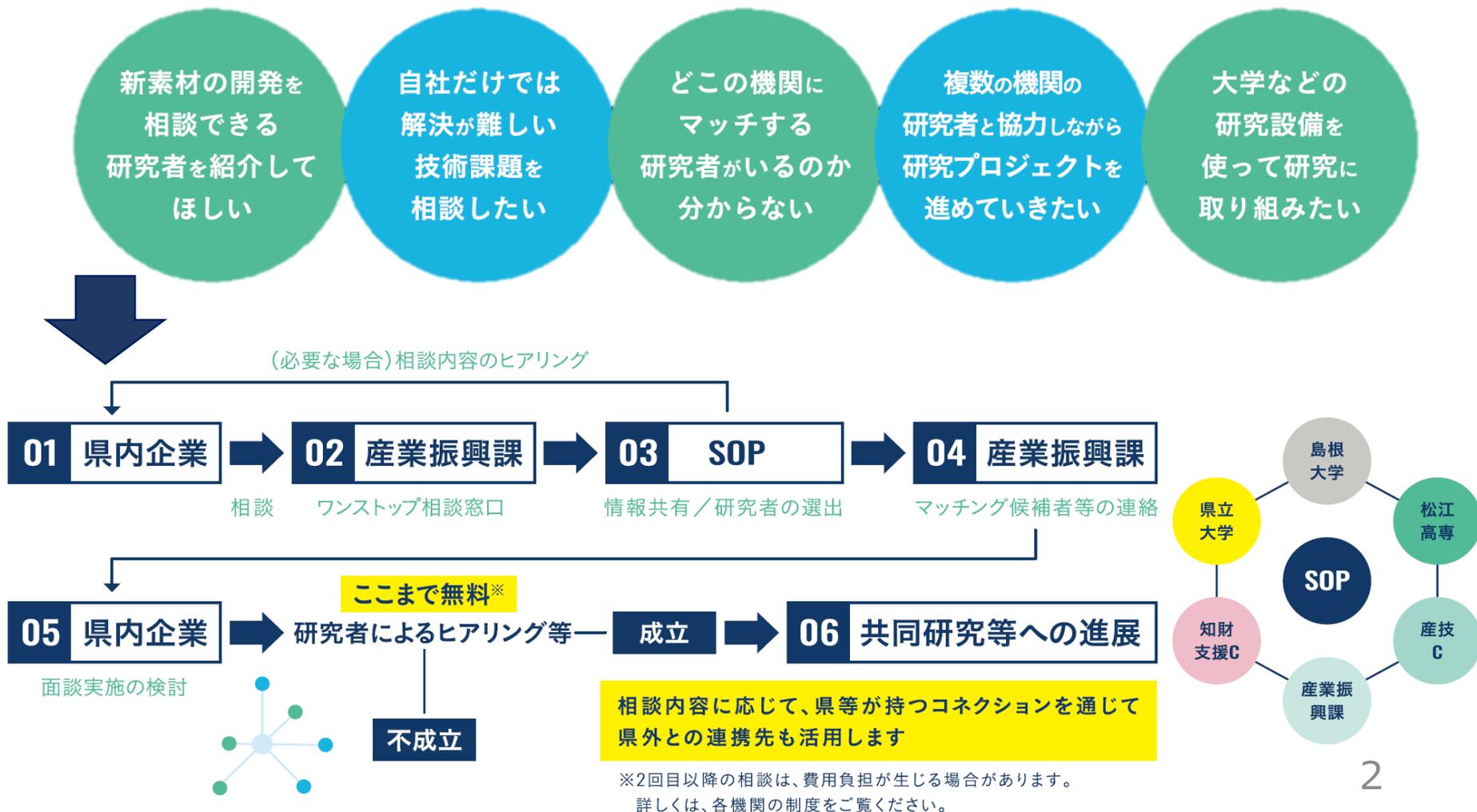
- 売上拡大（外貨獲得）
- 雇用増大

| 支援の視点              | 内容  |
|--------------------|---|
| 技術課題の解決<br>(研究・開発) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究・開発のワンストップ窓口を設置</li><li>・ 産学官連携やマッチングをコーディネート</li><li>・ 研究会活動</li></ul> |
| 資金支援<br>(投資)       | 新製品・サービスの研究開発に係る費用を補助／助成  |
| 戦略構築支援<br>(経営)     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 会員制コミュニティによる情報提供</li><li>・ 共創パートナー形成マッチング</li></ul>                       |
| 事業化支援              | 専門コンサルタントによる製造事業向け伴走支援  |

# 技術支援：SOP（しまねオープンイノベーションプラットフォーム）

- 産学連携による共同研究等を希望する県内企業を対象に、県内研究者等とのマッチング等を実施するワンストップの技術相談窓口

## SOPにおけるご相談の流れ



# 資金支援① しまねオープンイノベーション推進助成事業

## ■ 助成事業の概要 ※ものづくり製造事業向け (詳しくは、しまね産業振興財団へお問い合わせください)

- 県内企業の研究開発強化・売上増加・利益率向上を促進するため、オープンイノベーション（国内の大学等や企業連携）による新分野への進出や新技術・商品開発など、県内企業等の新たな挑戦を支援

### 助成事業のスキーム

|        | チャレンジ枠  | 事業化枠   | 高度研究開発枠   |
|--------|---|--|---|
| 対象者    | 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に定義する中小企業者、ただし県内の大学及び高等専門学校と連携する場合は、この限りではない。<br>※対象者に関する詳細条件は「企業支援施策ガイドブック p85」を参照 |  |   |
| 対象事業   | 新たな挑戦による競争力強化を目的として、市場調査、試作開発又は可能性検証試験を踏まえた新分野への進出や新製品・商品開発を行う事業  | 売上増加・利益率向上等を目的として、国内の大学・高専、企業・外部専門家と連携して事業化に向けた研究開発を行う事業 | 次世代技術開発を目的として、国内の大学・高専・研究機関・企業等と連携して、事業化に向けた研究開発を行う事業 |
| 事業期間   | 1年以内  | 2年以内 ※1年以内でも可  |   |
| 補助率    | 補助対象経費の1/2<br>※事業化枠、高度研究開発枠における県内の大学・高専との産学連携研究費の助成率は10/10<br>※高度研究開発枠における県外の大学・高専との産学連携研究費は2/3             |  |   |
| 限度額    | 1,000千円以内<br>I  | 5,000千円以内/年  | 10,000千円以内/年  |
| お問い合わせ | (公財)しまね産業振興財団新事業支援課：☎0852-60-5112<br>✉sat@joho-shimane.or.jp  |  |   |

# 資金支援② 島根ヘルステックビジネス事業化支援事業

## ■ 補助事業の概要 ※サービス事業、ソフト事業向け

- ICT（情報通信技術）等の先端技術を活用して医療・ヘルスケアに関する新しい価値を生み出すサービス事業（ヘルステックビジネス）の県外への市場開拓・事業化・可能性検証枠を支援

### 補助事業のスキーム

|        | 可能性検証枠  | 事業化支援枠                             |
|--------|---|------------------------------------|
| 対象者    | 中小企業者、事業協同組合、企業組合、一般社団法人、一般財団法人、その他知事が認める団体であって、島根県内に事業所を有するもの  |                                    |
| 対象事業   | 事業化の前段階の市場調査、医学的検証等を行う事業  | ヘルステックビジネスのビジネスプランを事業化するための実証を行う事業 |
| 補助率    | 補助対象経費の 1/2   |                                    |
| 限度額    | 2,000 千円  | 5,000 千円                           |
| お問い合わせ | 島根県産業振興課：☎ 0852-22-6395<br>✉ <a href="mailto:healthcarebiz@pref.shimane.lg.jp">healthcarebiz@pref.shimane.lg.jp</a> |                                    |

# 事業の趣旨

## ■ しまね次世代産業創出オープンイノベーション推進事業の趣旨

- 事業の目的は、新しい事業や製品・サービスの創出により、県内企業のさらなる成長を支援すること
- 主なターゲット市場は、次世代産業分野（グリーン・環境、ヘルスケア、次世代モビリティ）
- 支援施策は、「技術」、「資金」、「戦略」、「事業化支援」の4つの視点で展開
- 施策実施に当たっては、オープンイノベーション（産官学や民間企業同士の共創・連携）の実現に注力

### 支援施策の全体像

#### 【基本的な考え方】

単独で実施するよりも、外部と組むことによる新事業創出を支援  
⇒オープンイノベーション（産官学や民間企業同士の連携）の必要性

### 事業の目的

#### 事業化

- 新製品・サービスの創出
- 既存の大幅改善
- 新市場への展開

≪主なターゲット市場：次世代成長分野≫

- ・ グリーン・環境
- ・ ヘルスケア
- ・ 次世代モビリティ

#### 企業の成長

- 売上拡大（外貨獲得）
- 雇用増大

#### 支援の視点

#### 内容

技術課題の解決  
（研究・開発）

- ・ 研究・開発のワンストップ窓口を設置
- ・ 産学官連携やマッチングをコーディネート
- ・ 研究会活動

資金支援  
（投資）

新製品・サービスの研究開発に係る費用を  
補助／助成

戦略構築支援  
（経営）

- ・ 会員制コミュニティによる情報提供
- ・ 共創パートナー形成マッチング

事業化支援

専門コンサルタントによる製造事業向け伴走支援

# 戦略構築支援 島根グリーンビジネスフォーラム/島根ヘルスケアビジネスコミュニティ

- 「情報提供（セミナー、メルマガ）」、「情報発信」、「個別相談」、「マッチング」、「補助・助成による資金支援」等の各種支援メニューにより、次世代成長分野への事業参入、事業拡大をサポート

## ■ 島根グリーンビジネスフォーラム

「グリーン・環境分野」への県内企業の参入を促進し、新製品、新技術のイノベーション創出を目指す無料の会員制コミュニティ（県内92社／令和7年3月末時点）

| 分野                          | キーワード   |
|-----------------------------|---|
| サステナブル（脱・減プラ）<br>製品・素材・加工技術 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 脱プラスチック（生分解プラ、自然素材）に向けた取組</li><li>・ 長寿命化製品</li></ul>                    |
| 資源循環に関連する<br>製品・素材          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃棄物のリデュース・リユース・リサイクルに関連した製品等開発</li><li>・ 未利用資源を活用した製品・素材の開発</li></ul>   |
| エネルギーに関連する<br>製品・素材・加工技術    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 再生可能エネルギー</li><li>・ 半導体・情報通信</li><li>・ 蓄電池</li><li>・ 水素・アンモニア</li></ul> |

## ■ 島根ヘルスケアビジネスコミュニティ

「ヘルスケアビジネス」への県内企業の参入を促進するための無料の会員制コミュニティ（県内46社・支援団体20団体／令和7年3月末時点）

| 分野                             | キーワード  |
|--------------------------------|--|
| 医療福祉機器・器具                      | 医療福祉に関連する機器や器具の開発・製造   |
| IT技術やバイオ技術等を活用したヘルステック<br>ビジネス | IT技術やバイオテクノロジーなどの先端技術や医療・介護の専門知識及び技能を事業の中核部分に活用し、医療やヘルスケアに関する新しいサービスや価値を生み出す革新的なビジネス |

## ■ 共創パートナー形成マッチング

専門的な知見を持つプロ人材等が県内企業の新事業構想にあわせて、相乗効果が期待される県内企業をコーディネート・ファシリテートしながら共創・座組の形成を支援

# グリーン、ヘルスケア関連製品・サービスのPR

- フォーラム・コミュニティ会員企業における販路開拓やマッチング等に活用することを目的として、「ポータルサイトへの掲載」や「ガイドブックの発行」を通じて、各企業の製品やサービスを紹介

## グリーンビジネス製品・サービス一覧 (2024年04月15日現在)

資源循環・環境保全

|   |  |
|---|--|
| <p>太陽光パネルリサイクル、プラスチックマテリアルリサイクル<br/>アースサポート株式会社</p>     | <p>防食アルミ溶射による屋外製品の長寿命化<br/>株式会社コダマ</p>                           |
| <p>遠隔監視/操作機能付きBMSを活用したリユースバッテリー製品展開<br/>I-PEX島根株式会社</p> | <p>田んぼの中間期間延長によるメタンガス削減とトククレジット創出<br/>株式会社アルボン</p>               |
| <p>廃タイヤビードワイヤー除去装置【ビードヌッキー】<br/>株式会社イワタクリエイト</p>        | <p>超低温厚膜試験機液体窒素中におけるトライボロジー評価の実現<br/>株式会社キグチテクニクス</p>            |
| <p>電気浸透脱水機ELO-MS(汚泥脱水機)/スリットセーバー(固液分離機)<br/>株式会社研電社</p> | <p>ファイバーレーザー加工機/サーボプレスブレーキ/ファイバーレーザー溶接機<br/>株式会社研電社</p>          |
| <p>高精度微量測定による再生可能エネルギー関連設備保全の高度化<br/>株式会社コア</p>         | <p>リサイクル材料を用いた安定成型の実現<br/>城東化成株式会社</p>                           |
| <p>セラミックサンド<br/>株式会社丸船 (石州瓦工業組合)</p>                    | <p>重金属類吸着剤メタルグリッドA<br/>大福工業株式会社</p>                              |
| <p>パーライト再生<br/>日本ペントナイト工業株式会社</p>                       | <p>木質バイオマスガス化熱電併給プラント ネオナイトローンジェネレーター-NRGS-750<br/>株式会社ネオナイト</p> |

島根 島工労働部 産業振興課 インベーション推進課

### 株式会社ひるせプロダクト

安全性の高い木・竹製の脱プラスチック製品で脱炭素社会に貢献する

ストローやスプーンなど「使い捨て」にされるカトラリー製品の多くで、従来はプラスチック製品が用いられていたが、海洋汚染、マイクロプラスチック問題などを背景とし、その使用削減が社会課題となっている。株式会社ひるせプロダクトはプラスチック製品に替わる木・竹製品でシェアを伸ばし、日本の脱プラスチックを牽引している。

【インタビュー】  
代表取締役 萩本 学 氏

## 島根ヘルスケアビジネスポータルサイト(製品・サービスPRサイト) https://conference-park.jp/conference/80/company

|                                  |                       |                      |                        |
|----------------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
| <p>株式会社Epsilon Software Inc.</p> | <p>株式会社ERISA</p>      | <p>株式会社Canvas</p>    | <p>キシ-エンジニアリング株式会社</p> |
| <p>株式会社KUTO</p>                  | <p>山陰パナソニック株式会社</p>   | <p>株式会社トルクス</p>      | <p>日本電子精機株式会社</p>      |
| <p>PuREC株式会社</p>                 | <p>株式会社mAbProtein</p> | <p>株式会社リバイリネーション</p> | <p>株式会社イーグリッド</p>      |

島根県 0855-8131

株式会社アイコミュニケーション vol.11

何かあった時の連絡先ボタン  
COMBO  
だれでも使える やさしい連携

ITの使い分け方によって使ったコミュニケーションボタン「COMBO」

島根県 0855-8131

※各ポータルサイト、ガイドブックより一部抜粋

## ■ 地域中核企業の創出に向けた伴走支援事業の趣旨

- 新規事業の収益化や既存事業の成長を目指し、企業の取組み状況に応じた計画策定・実行や各種経営課題の解決等を専門コンサルタントが伴走型で支援し、地域の中核となる企業の創出を目指す。

## ■ 伴走支援の内容例

| 分野      | 取組概要  |
|---------|---|
| マーケティング | <ul style="list-style-type: none"> <li>市場リサーチ調査サポート</li> <li>営業用ロングリスト、アタックリストの作成支援</li> <li>実証実験先発掘</li> </ul>                           |
| 戦略策定    | <ul style="list-style-type: none"> <li>知的戦略・ブランド戦略の策定支援</li> <li>人材採用戦略の支援／採用プロセスの整理</li> <li>収支計画の策定支援</li> <li>資本政策のブラッシュアップ</li> </ul> |
| 広報戦略    | <ul style="list-style-type: none"> <li>PR戦略整理</li> <li>プレスリリース作成・配信</li> <li>プレゼンテーション支援</li> </ul>                                       |
| マッチング   | <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外の企業、投資家・金融機関</li> <li>専門家、研究機関</li> <li>メディア</li> </ul>   |



※R6取組み事例の詳細は県HPをご参照ください。